

Fusyo Collaboration letter



10月 23日

No.21

文責 廣田 秀俊

頑張りあえた仲間に拍手 達成感を感じた大運動会

附属小学校の運動会は本当に素晴らしいものでした。運動会当日の子供たちの表情・視線・態度は実に見事でした。日頃の積み重ねが、さらに一段成長した姿へと変容していきました。

“輪～つかむ・広げる・のりこえる”のテーマ達成のため、各色の応援に力を入れた子供たちの声がかどまし、運動会の幕が開きました。気持ちを込めて声を出し、ジャンプしたり、手拍子したり帽子を回したりする一つ一つの行動にも気合いが入っていました。各色の応援の力で競技にも熱が入っていきます。



ダッシュでは抜きつ抜かれつのデッドヒートやゴールを走る抜ける勇ましい姿が見られました。笑顔でダンスする姿や一つ一つの動きを確かめるように表現する姿がありました。真剣な目、ピンと伸びた肘、お家の人にしっかり披露しようとする姿が、その姿勢から感じることができました。集中して競技・演技を続けていくことで、会場の熱気はさらにあがっていきました。

子供たちは一人一人が自分の役割を理解し、どんな動きで仲間と行動していくかを考えている姿が随所で見られました。みんなの応援がさらに力となっていました。クラスや学年で取り組んだ努力が実り、涙をながす子がいたり、全力で競技に向き合い達成感を感じている様子が見られる子がいたり、ゴールで手をあげ喜びを表現する子がいたり、その純粋な思いと意欲を持って臨んでいる姿は本当に立派でした。



各学年とも積み重ねてきた練習の成果がグラウンドで花開きました。最後に登場した6年生の表現には、一つ一つの演技に歓声と拍手が送られていました。そこには目標となる素敵な最上級生がいました。どの演技、競技にも子供たちのよさと無限の可能性が発揮されていました。この運動会で学んだことをしっかりと自分のものにして、次のステップへと進んで欲しいと思います。



ご観覧いただいた皆様の応援いただく声が、子供たちのやる気と頑張りへとつながって来ました。心よりお礼申し上げます。これからもよろしくお願いたします。

